

# 食品産業が生物多様性を守る。



参加  
無料

## COP15で食品業界に期待が集まる理由

主催：一般社団法人 企業と生物多様性イニシアティブ(JBIB)

共催：サラヤ株式会社、MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス株式会社

**開催日時** : 2021年12月15日 (水) 13:00~15:30  
**定員** : 先着500名様  
**開催方法** : オンライン配信 (Zoom)  
**参加費** : 無料  
**申込方法** : 右上のQRコード、もしくは下記URLよりお申込みください。  
(申し込み締め切り: 12月10日 (金))



[https://us02web.zoom.us/join/register/2916356773091/WN\\_2oM4\\_rBbQ82SJuoz\\_sYWZA](https://us02web.zoom.us/join/register/2916356773091/WN_2oM4_rBbQ82SJuoz_sYWZA)

※お一人様ずつお申込みください。

※本セミナーは事前登録制です。お申し込みいただいた方は、当日だけでなく1か月間アーカイブ配信にて視聴可能となります。

### 開催の目的と内容

食品産業は、気候危機と生物多様性の二つの危機に与える影響が大きなセクターとして近年国際的に大変注目されています。この二つの重要な問題に対処しながら、なおかつ2050年には97億人を超えると予想される地球の人口を支えるために、川上から川下まで食品産業の大変革が必要と言われています。そのため、今年9月には国連が食料システムサミットを開催し、世界中から様々な取り組みやアイデアが持ち寄られました。来年春に開催される生物多様性条約COP15第2部では、今後10年間の世界全体での活動計画や目標が決定される予定ですが、その中には食品産業に関わる事項が多くあることが分かっています。

一般社団法人 企業と生物多様性イニシアティブ (JBIB) は、企業が生物多様性の保全とビジネスをどう両立させるかということをテーマに14年間活動を続けてきました。サプライチェーンを持続可能にするなど、事業活動の中で生物多様性の保全を実践する企業が多く集って活動しています。

今回はJBIB会員企業および一般の企業から、食品ロスの削減を中心に、生物多様性の保全にもつながる様々な取り組みをご紹介します。生物多様性の保全に食品産業が果たす役割を考えます。

(プログラムの内容は都合により一部変更になる可能性があります。予めご了承ください。)

### 第1部 13:00~14:50 講演

JBIBからは、最新の国際動向に加えて食品衛生、食品パッケージなどの工夫による食品ロス削減の取り組み手法 (サラヤ株式会社、大日本印刷株式会社) をご紹介します。また、ベンチャー企業(ネクストミーツ株式会社、ICS-net株式会社)から、食品ロスを防止するためのユニークな取り組みをご紹介します。

### 第2部 15:00~15:30 質疑応答とミニパネルディスカッション

質疑応答とミニパネルディスカッション

主催：一般社団法人企業と生物多様性イニシアティブ (JBIB) <http://www.jbib.org>

問合せ先：JBIB事務局 (株式会社シーエーティ内)

tel: 045-228-7696 / mail: [sec@jbib.org](mailto:sec@jbib.org)